

ネットオークションをはじめる前にご注意ください！

ネットオークションは個人間取引が原則です。相手の信頼性の判断は、入札者のみならず出品者においても、最終的に自分で行わなければなりません。

特に、入札側においては以下の点に注意し、ネットオークションを利用しましょう。

- 1.取引相手のメールアドレスや携帯電話番号のほか、住所、固定電話番号などの連絡先を確認する。
- 2.エスクローサービス（出品者と落札者の間にサービス会社が入る）など、取引の安全性を高めるサービスを活用する。
- 3.サイトの評価欄で、出品者の過去の取引状況を確認する。
- 4.出品者に関連した振込口座などが、オークションサイトのトラブル報告リストに入っていないか確かめる。
- 5.取引状況や相手とのやり取りは印刷し、振込の控えを保存する。
- 6.匿名配送など、プライバシーに配慮したサービスを扱っているか事前に確かめる。



インターネットで購入した商品はクーリング・オフ出来ません！

通信販売は特定商取引法上のクーリング・オフ規定がないため、クーリング・オフはできません。ウェブサイト上に表示されている“返品可否と返品可能な場合の条件（返品特約）”をよく確認しましょう。また、返品できる場合でも、一般的に返品期限が設けられている場合があります。

申込み画面に「返品不可」などの返品特約の表示がない場合は、返品の際の送料は消費者負担となりますが、商品を受け取った日を含めて8日間以内であれば返品できます。また、返品可能な場合として返品特約に定められた条件に合っても、期限を過ぎたら返品できない場合があります。

トラブルにならないよう、商品が手元に届いたら、「注文した商品と違うものが届いていないか」「商品が壊れていないか」「注文したものとサイズや色が違ってないか」「数量が異なっていないか」など、すぐに中身を確認することが大切です。又、注文した内容や業者からのメールや確認画面は印刷・保存しておきましょう。



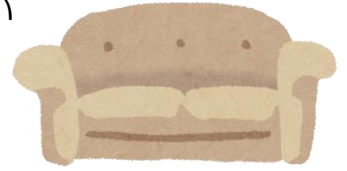
(消費生活センター運営協議会)

有名企業の公式サイトだと思ったら 模倣サイトだった！！

<事例 1>

有名家具店の公式サイトだと思い、ソファが約 2 万円と安くなっていたので購入した。受注メールが届かないので、改めてサイトを確認したところ、URL が公式サイトと違っており、偽サイトだと気付いた。

(70 歳代 男性)



<事例 2>

有名家電メーカーの公式サイトだと思い、格安で販売されていた掃除機を注文した。受注メールは届いたが、なかなか商品が届かず不審に思っていたところ、偽ブランドのマフラーが送られてきた。家電メーカーに確認し、偽サイトを利用したことが分かった。

(60 歳代 女性)



アドバイス

1. 有名企業等の公式サイトによく似た模倣サイトで商品を注文し、代金を支払ってしまったという相談が寄せられています。
2. 模倣サイトでは、日本語などが明らかにおかしいものもありますが、最近では見分けがつかないほどよく似ているものもあります。販売価格が大幅に値引きされている場合などは、模倣サイトの可能性が高く、注意が必要です。
3. 模倣サイトでクレジットカード決済をしたことに気付いたときは、すぐにクレジットカード会社に連絡をしましょう。
4. 困ったときは、すぐにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください（消費者ホットライン 188）。海外事業者とのトラブルについては、国民生活センター越境消費者センター（<https://www.ccj.kokusen.go.jp/>）で、ウェブフォームにて相談を受け付けています。（国民生活センター 見守り新鮮情報より）



クーリング・オフなど契約に関する相談は・・・

稲城市消費生活センター

相談電話 **042-378-3738**

月～金曜日（年末年始・祝日除く）

午前9時30分～正午、

午後1時～3時30分

